

八戸圏域水道企業団 令和4年度水道事業会計 決算の概要

令和5年11月
経営審議会

目次

1.業務実績	3
2.決算報告書	10
3.財務諸表	16
4.その他		
(1)主な建設改良工事		21
(2)給水収益の推移		22
(3)企業債償還状況		23
(4)留保資金の状況		24
(5)経営比較分析		25

1.業務実績

人口・世帯・配水量・有収水量
前年度比較

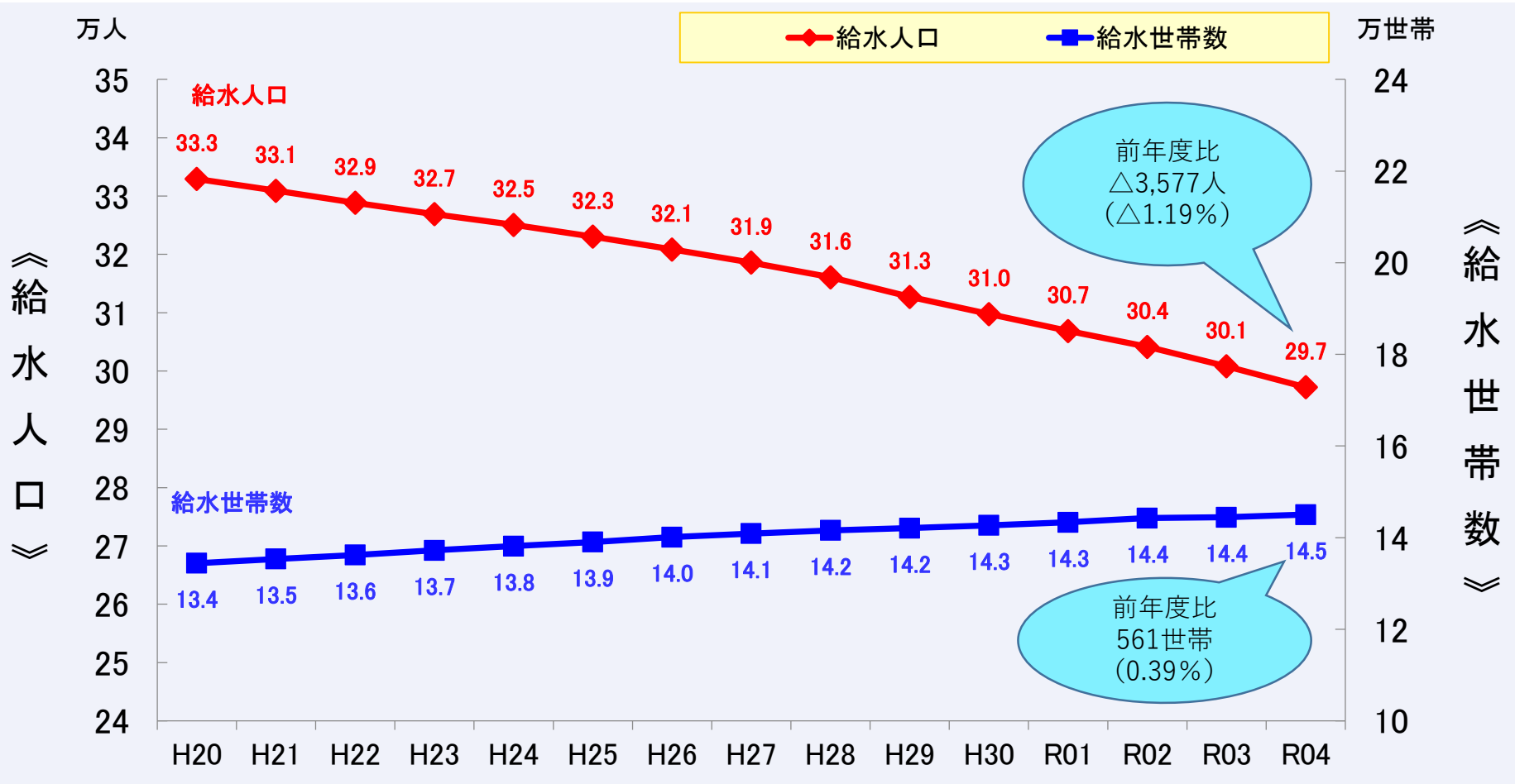
1.業務実績

〔前年度比較〕

事 項	令和4年度	令和3年度	増 減	増減率
① 給水人口	297,228人	300,805人	△3,577人	△1.19%
② 給水世帯数	145,012世帯	144,451世帯	561世帯	0.39%
③ 年間配水量	29,495,783m ³	30,059,637m ³	△563,854m ³	△1.88%
④ 一日平均配水量	80,810m ³	82,355m ³	△1,545m ³	△1.88%
⑤ 一日最大配水量	12月31日 87,666m ³	7月19日 91,714m ³	△4,048m ³	△4.41%
⑥ 年間有収水量	26,734,441m ³	27,280,052m ³	△545,611m ³	△2.00%
⑦ 有収率 ⑥÷③×100	90.64%	90.75%	△0.11ポイント	—

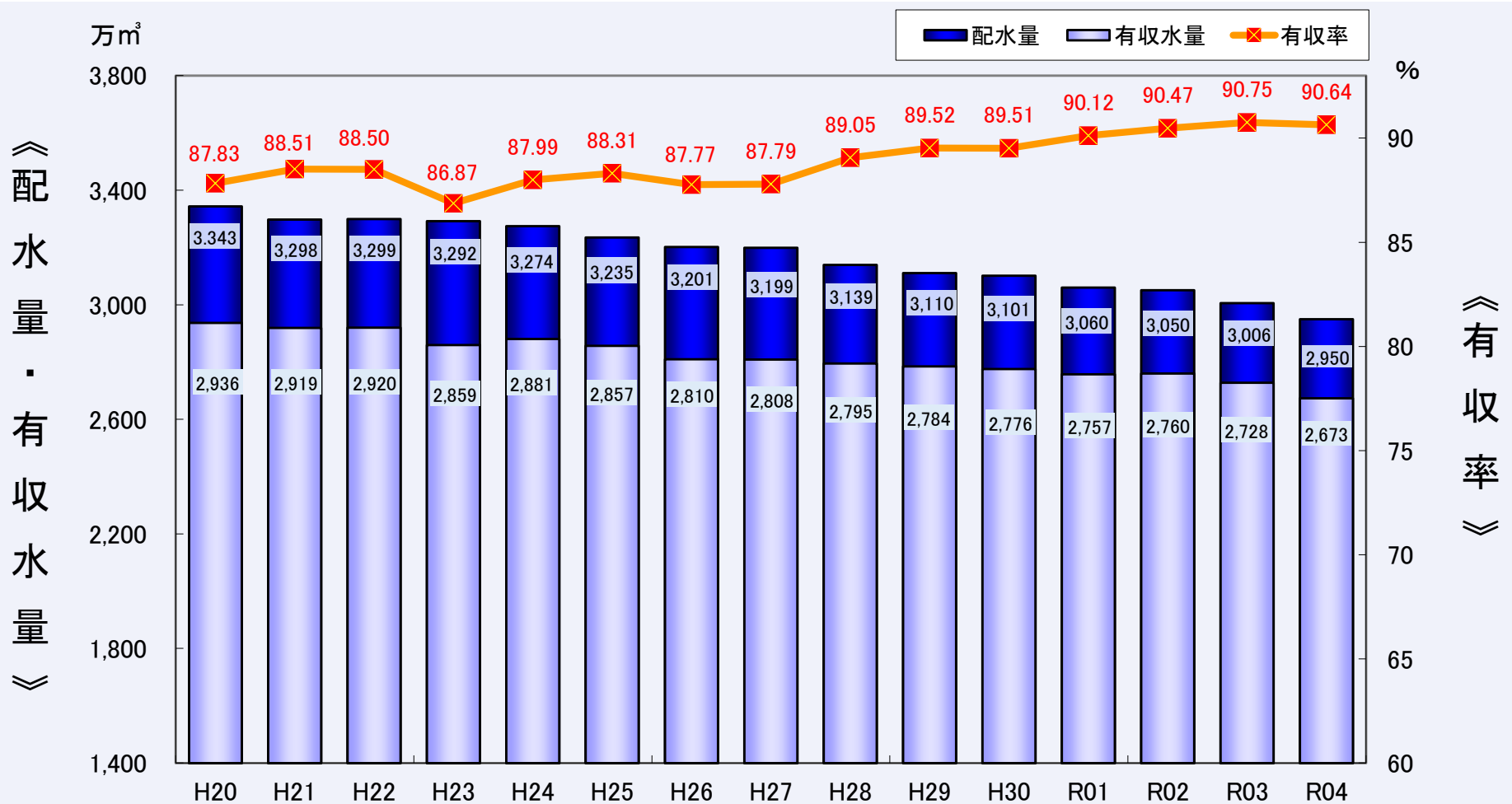
①給水人口・②給水世帯数の推移

給水人口は、平成14年度の33万9,149人を最高に減少しています。
給水世帯は、まだ増加しています。



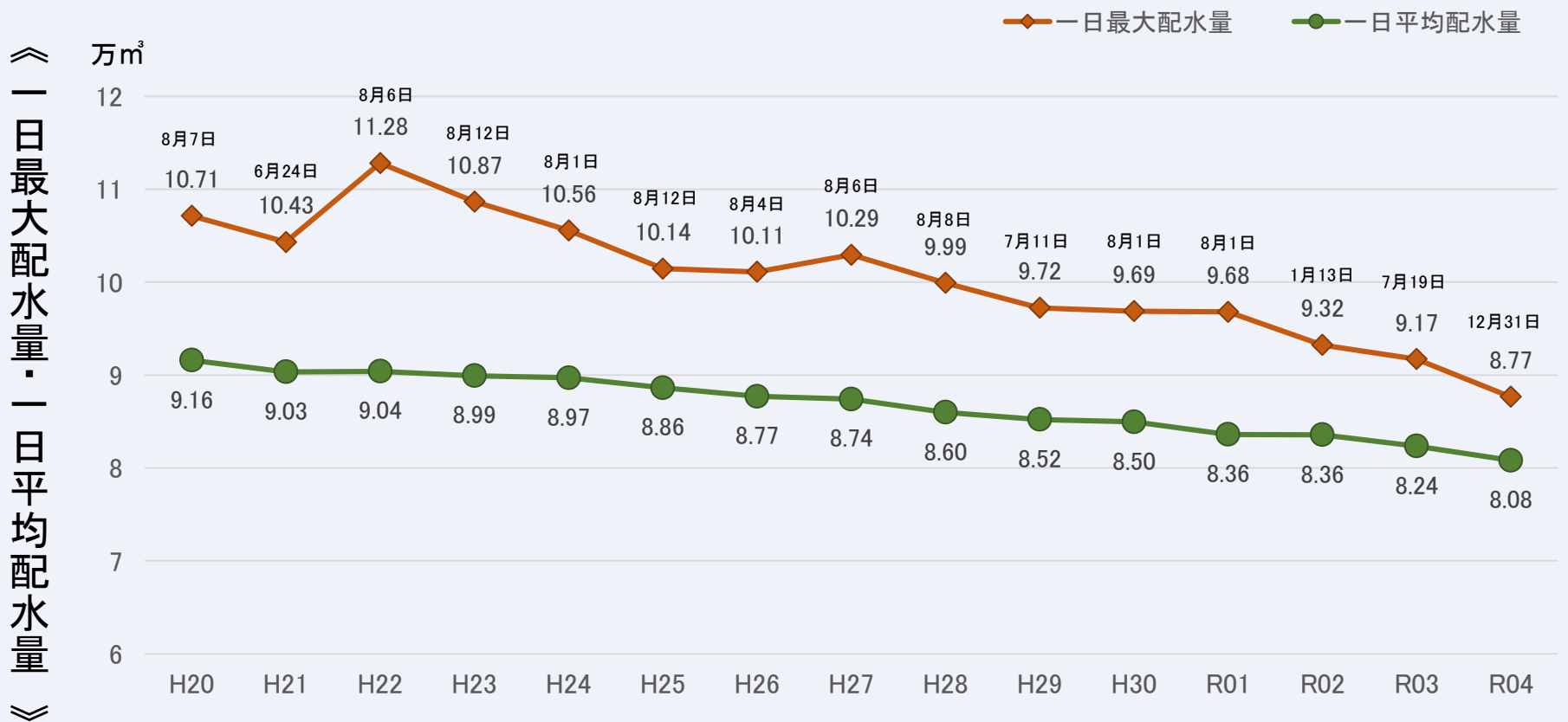
③配水量・⑥有収水量・⑦有収率の推移

配水量・有収水量は、気温などの要因に影響を受けますが、減少傾向です。
有収率(配水した水がどれだけ収益に繋がっているか効率性を表す)は、前年より減少しました。

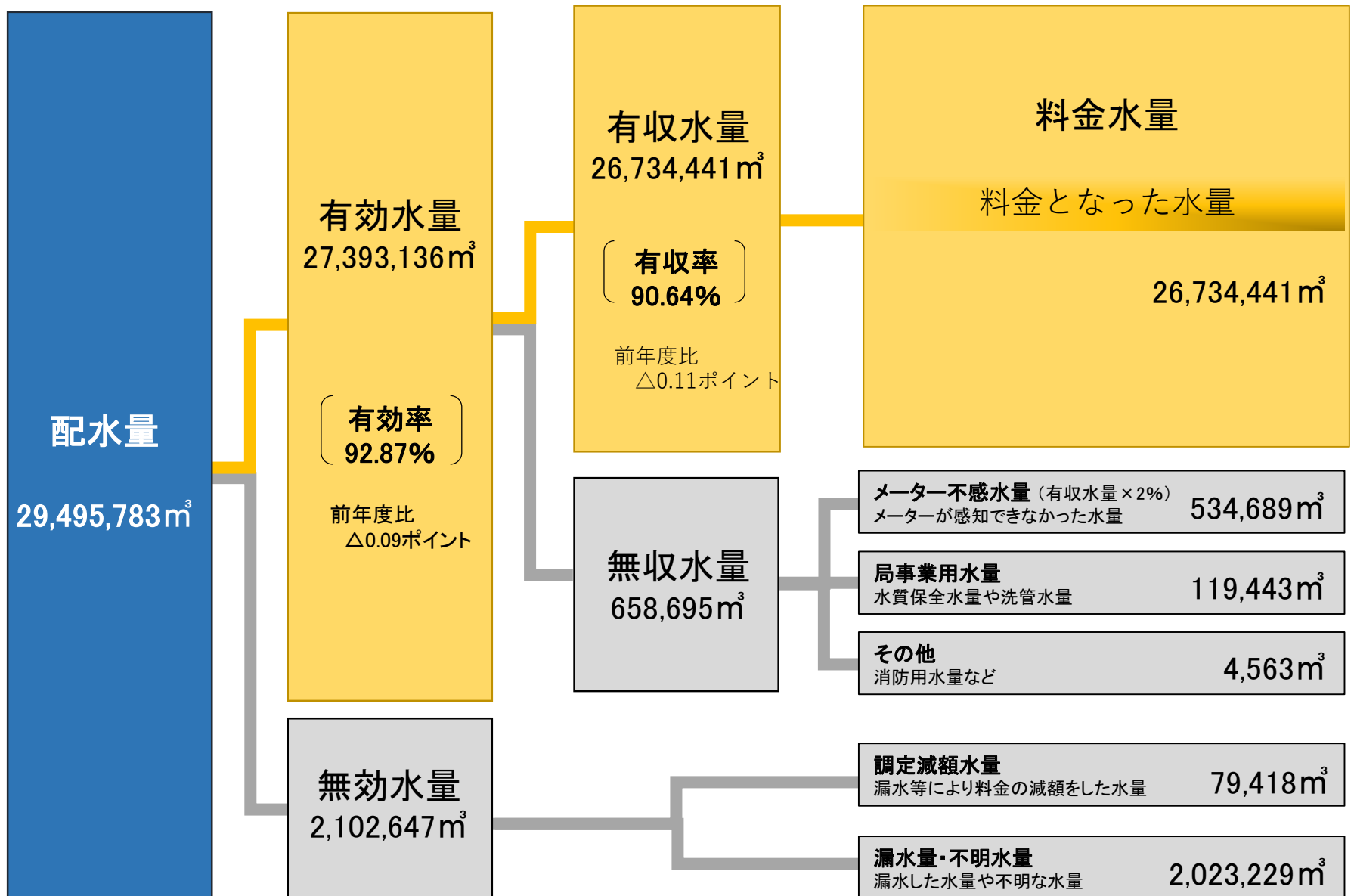


④一日平均配水量・⑤一日最大配水量の推移

令和4年度の最大配水量の日は、大晦日の12月31日でした。例年は8月ごろに一日最大配水量を記録しますが、令和4年度の夏は、天候不良等のため配水量が伸びませんでした。



③年間配水量の内訳



③年間配水量の内訳（前年度比較）

	4年度	3年度	増減	増減率
配水量	29,495,783m ³	30,059,637m ³	△563,854m ³	△1.9%
有効水量	27,393,136m ³	27,942,151m ³	△549,015m ³	△2.0%
有収水量	26,734,441m ³	27,280,052m ³	△545,611m ³	△2.0%
料金水量	26,734,441m ³	27,280,052m ³	△545,611m ³	△2.0%
無収水量	658,695m ³	662,099m ³	△3,404m ³	△0.5%
メーター不感水量	534,689m ³	545,604m ³	△10,915m ³	△2.0%
局事業用水量	119,443m ³	112,256m ³	7,187m ³	6.4%
その他	4,563m ³	4,239m ³	324m ³	7.6%
無効水量	2,102,647m ³	2,117,486m ³	△14,839m ³	△0.7%
調定減額水量	79,418m ³	70,968m ³	8,450m ³	11.9%
漏水量・不明水量	2,023,229m ³	2,046,518m ³	△23,289m ³	△1.1%

2.決算報告書

予算に対する決算の状況

2.決算報告書

〔予算の執行状況〕

補足資料5ページ
消費税込み

(1) 収益的収入及び支出(損益取引)

単位:千円

収益的収入	予算額 ①	決算額 ②	増減額 ② - ①
水道事業収益(A)	9,118,286	9,111,520	△6,766
営業収益	8,056,220	8,049,315	△6,905
営業外収益	1,062,066	1,062,205	139

収益的支出	予算額 ③	決算額 ④	翌年度への 繰越額 ⑤	不用額 ③-④-⑤
水道事業費(B)	8,521,031	8,331,090	17,138	172,803
営業費用	8,208,735	8,024,887	17,138	166,710
営業外費用	310,296	306,203	0	4,093
予備費	2,000	0	0	2,000

収支差引(A) - (B)	予算差引額	決算差引額	増減額
	597,255	780,430	183,175

(2) 資本的収入及び支出(資本取引)

単位:千円

資本的収入	予算額 ①	決算額 ②	増減額 ②-①
資本的収入(C)	1,597,021	1,581,925	△15,096
企業債	890,000	890,000	0
工事負担金及び寄附金	101,814	91,278	△10,536
国庫補助金	416,529	416,529	0
水道加入金	188,678	184,118	△4,560

資本的支出	予算額 ③	決算額 ④	翌年度への 繰越額⑤	不用額 ③-④-⑤
資本的支出(D)	5,131,108	4,839,549	179,273	112,286
建設改良費	4,161,836	3,870,277	179,273	112,286
企業債償還金	969,272	969,272	0	0

収支差引(C)-(D)	予算差引額	決算差引額	増減額
	△3,534,087	△3,257,624	276,463

↑
補てん財源を使用

翌年度への繰越額⑤の内訳

消費税込み

資本的支出：継続費逐次繰越

単位：千円

事業名	継続費の総額	令和4年度予算現額 ①	支払義務発生額 ②	翌年度繰越額 ① - ②
馬淵川系導水管更新事業	3,760,859	673,761	666,968	6,793
継続費逐次繰越額計				(A) 6,793

水道事業費：事故繰越

資本的支出：建設改良繰越

単位：千円

事業名	翌年度繰越額		繰越理由
	資本的支出	水道事業費	
三島浄水場電気設備更新工事	110,624	476	半導体不足の影響により、電気設備機器の納期が遅れたため、工期延長となり繰越となった。
赤石配水池電気設備更新工事	24,420	0	同上
小中野七丁目配水管布設替工事	37,436	16,662	新型コロナウイルス感染症の影響により、現場作業の一時休止や作業時間の短縮をしたことにより、工期延長となり繰越となった。
繰越額計 (B)	172,480	17,138	

(A)+(B)	179,273	17,138	繰越額合計 196,411
---------	---------	--------	----------------------

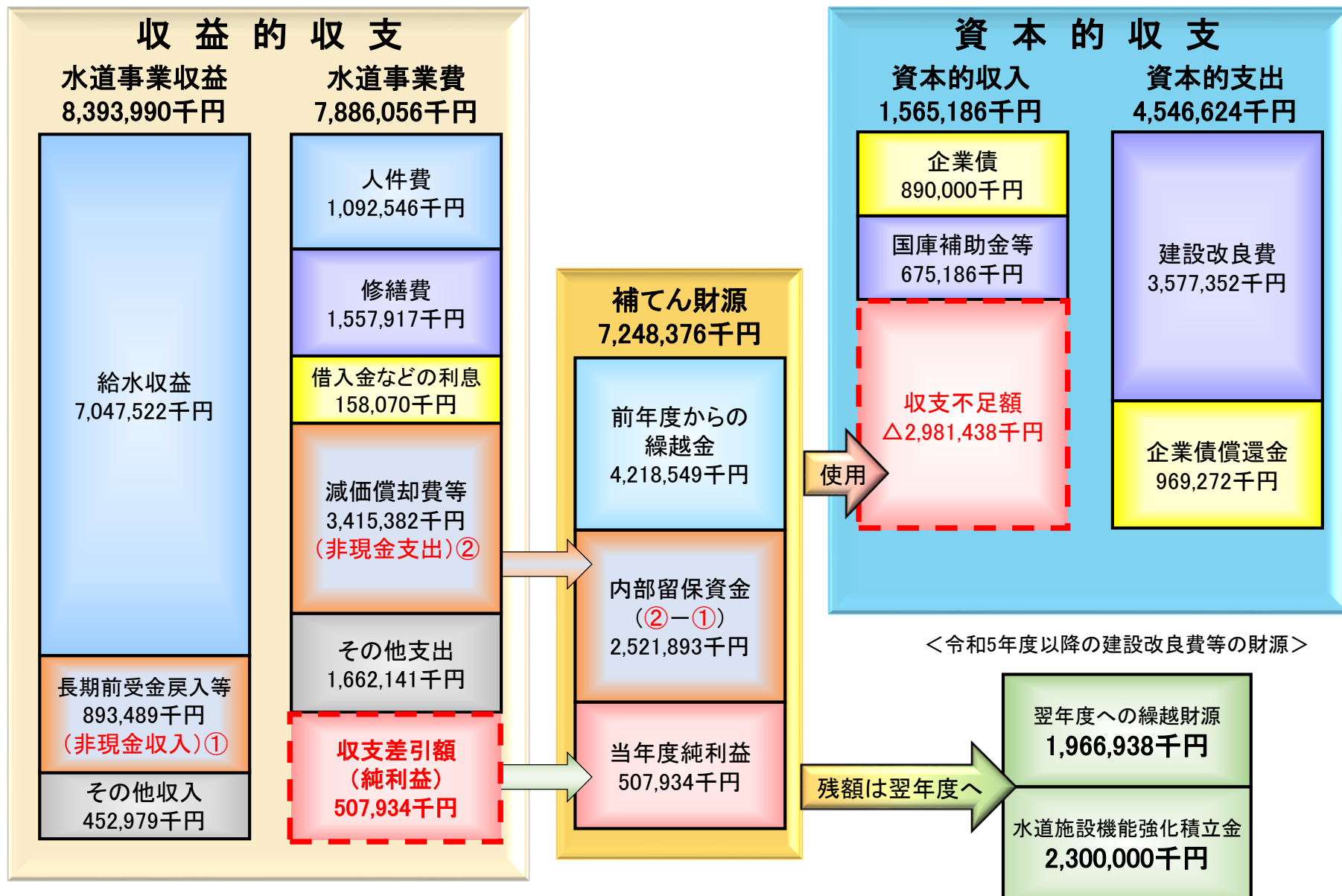
(3)補てん財源

単位:千円

区 分	現 有 財 源	R4年度使用 (資本的収支不足額)	翌年度への繰越
消費税資本的 収支調整額	276,186	276,186	0
損益勘定留保資金	2,822,153	2,625,742	(繰越の財源) 196,411
減債積立金	200,000	200,000	0
建設改良積立金	1,518,289	155,696	1,362,593
水道施設機能 強化積立金	2,200,000	0	2,200,000
当年度純利益 (消費税抜き)	507,934	0	※ 507,934
計	7,524,562	3,257,624	4,266,938

〔※当年度純利益は、減債積立金へ 5,000万円、建設改良積立金へ 3億5,793万4千円、水道施設機能強化積立金へ 1億円積み立て、令和5年度以降の建設改良事業や企業債償還の財源となります。〕

収支状況(図)



3.財務諸表

損益計算書と貸借対照表

3. 財務諸表

(1) 損益計算書〔前年度比較〕

単位：千円

科 目	令和4年度	令和3年度	増減額 (R4-R3)	増減の主な理由
営業収益 ①	7,344,232	7,436,278	△92,046	
給水収益	7,047,522	7,181,562	△134,040	水道料金収入の減
受託工事収益	2,513	16,320	△13,807	共同施設の設備更新工事に伴う洋野町負担金の減
その他営業収益	294,197	238,396	55,801	道路改良工事に伴う水道管移設工事負担金の増
営業費用 ②	7,727,323	7,256,715	470,608	
原水及び浄水費	1,059,971	953,927	106,044	燃料調整費の増に伴う動力費の増など
配水及び給水費	1,724,598	1,334,892	389,706	道路改良工事に伴う水道管移設工事費の増など
漏水対策費	157,001	145,510	11,491	配水・給水設備修繕工事の増など
量水器費	260,932	264,714	△3,782	人件費の減
受託工事費	2,513	16,319	△13,806	共同施設の設備更新に伴う洋野町負担工事費の減
業務費	482,157	479,182	2,975	人件費の増
減価償却費	3,394,871	3,342,884	51,987	固定資産の減価償却費の増
資産減耗費	20,511	92,927	△72,416	白山浄水場中央監視制御設備更新に伴う固定資産除却費(R3)の減
総係費ほか	624,769	626,360	△1,591	構内舗装工事、本庁舎入口門扉更新工事(R3)の減など
営業利益 (①-②) ③	△383,091	179,563	△562,654	

(1) 損益計算書〔前年度比較〕

単位：千円

科 目	令和4年度	令和3年度	増減額 (R4-R3)	増減の主な理由
営業外収益 ④	1,049,758	1,060,208	△10,450	
受取利息	537	990	△453	定期預金利息の減
下水道業務負担金	36,398	40,995	△4,597	電算処理委託料の減
構成団体負担金	12,515	12,449	66	児童手当負担金の増
長期前受金戻入	893,487	900,714	△7,227	補助金等長期前受金収益化額の減
資本費繰入収益	15,668	17,076	△1,408	統合した簡易水道事業債の元金償還金に対する繰入金の減(元利均等償還による)
雑収益	91,153	87,984	3,169	根城小水力発電・中古メータ売却代金の増など
営業外費用 ⑤	158,733	174,739	△16,006	
支払利息	158,069	173,564	△15,495	企業債支払利息の減
雑支出	664	1,175	△511	過年度分水道加入金還付の減
経常利益 (③+④-⑤) ⑥	507,934	1,065,032	△557,098	
特別利益 ⑦	0	426	△426	固定資産売却益(R3)の減
当年度純利益 (⑥+⑦)	507,934	1,065,458	△557,524	

令和4年度決算

①総資産 918億7,715万円

②有形固定資産が全体の
80%を占めている

③負債が全体の42%

④資本は全体の58%

(2) 貸借対照表

資産の部	固定資産 84,613,877千円 (92%)	負債の部	固定負債 11,702,370千円(13%)
	うち有形固定資産 73,805,406千円 (80%)		流動負債 2,085,233千円 (2%)
			繰延収益 24,343,327千円 (26%)
		負債合計 38,130,930千円(42%)	資本の部
流動資産 7,263,270千円(8%)	剰余金 5,292,782千円(5%)		
	資本合計 53,746,217千円(58%)		

(資産合計)
91,877,147千円

(借り方)

=

(負債・資本合計)
91,877,147千円

(貸し方)

4.その他参考資料

- (1) 主な建設改良工事
- (2) 水道料金収入の推移
- (3) 借入金の推移
- (4) 留保資金の状況
- (5) 経営分析

4. その他

(1) 主な建設改良工事

○老朽施設更新工事

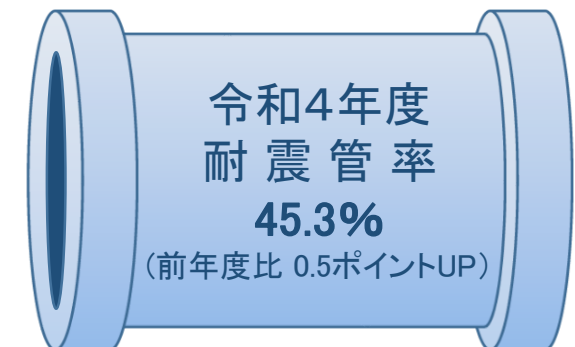
- ・白山浄水場配水本管及び流量計室更新工事(H30～R4継続事業)
- ・白山浄水場中央監視運転支援機能設備工事
(R3～R4継続事業)
- ・白山浄水場(馬淵川系)薬品注入機械設備更新工事
- ・新目時配水池(仮称)築造工事(R2～R4継続事業)など



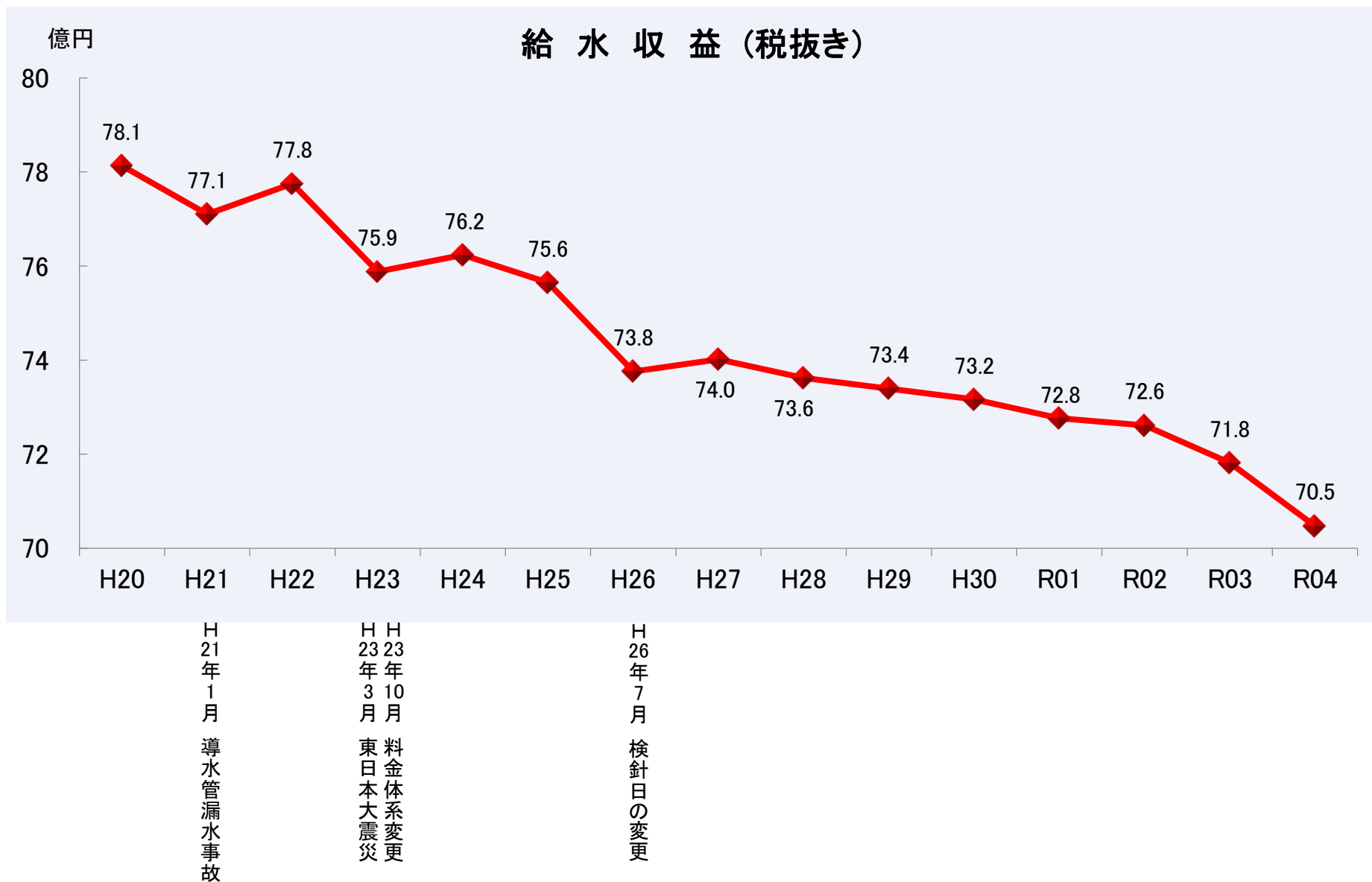
梅内(新目時)配水池

○管工事

- ・馬淵川系導水管
更新事業(H29～R5継続事業) (3,800m)
- ・蟹沢配水幹線布設替(シールド)工事
(R元～R5継続事業) (1,344m)
- ・送水管布設 349m
- ・配水管布設 2,858m
- ・配水管更新 4,537m
- ・ビニル管更新 3,210m



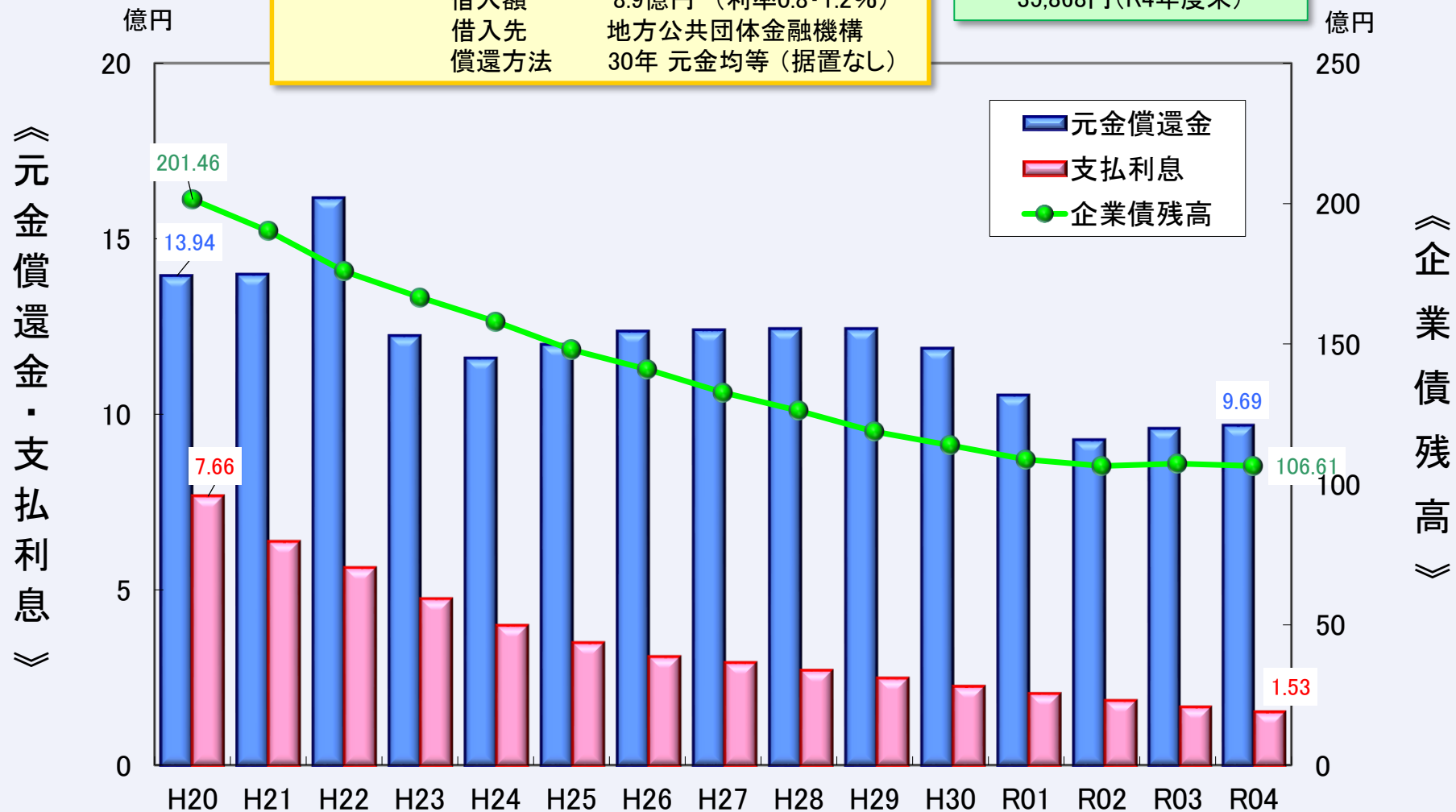
(2) 給水収益の状況



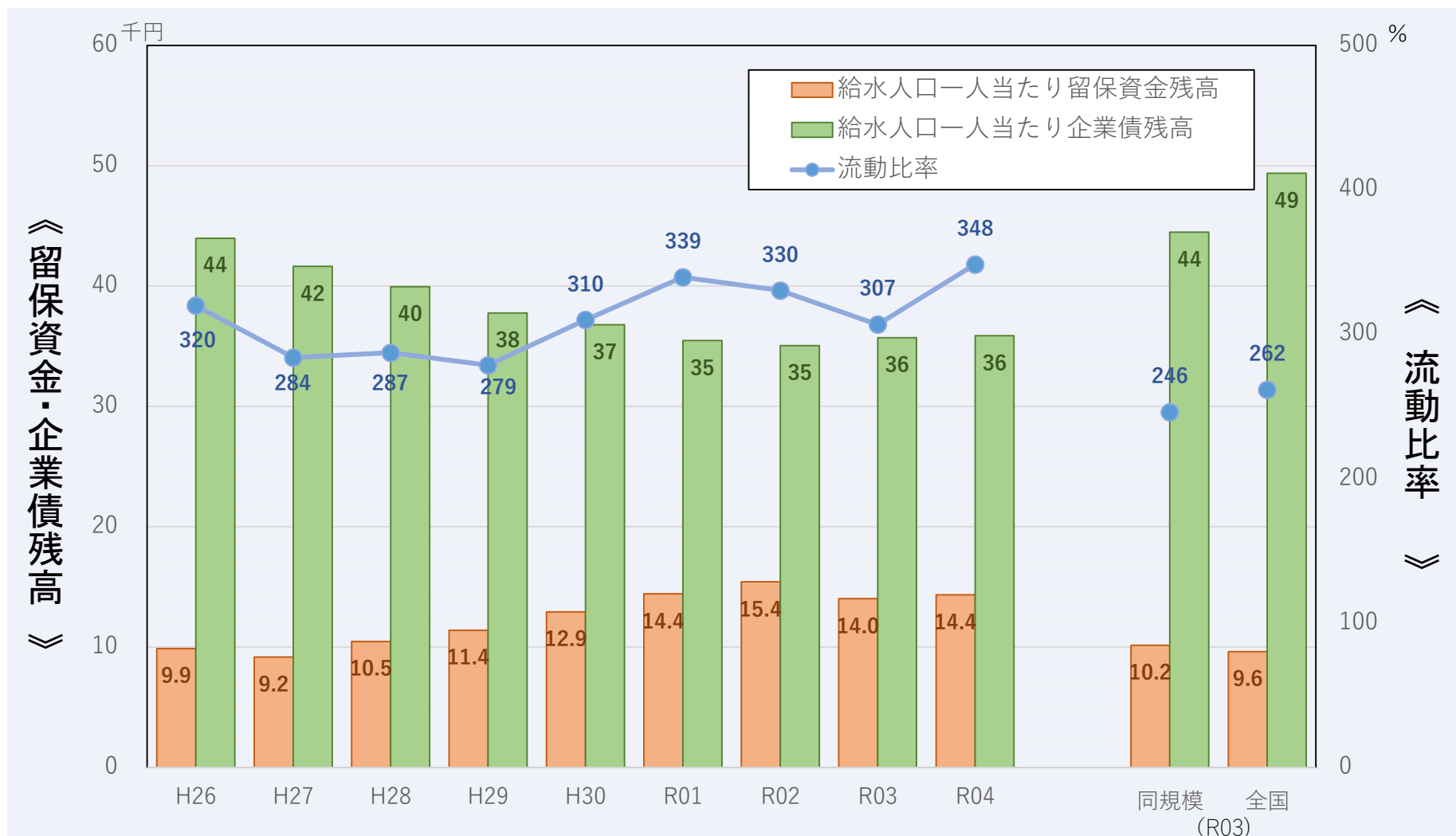
(3) 企業債償還状況

令和4年度 償還額 9.69億円
 借入額 8.9億円 (利率0.8・1.2%)
 借入先 地方公共団体金融機構
 償還方法 30年 元金均等 (据置なし)

給水人口一人当たりの借金
 35,868円 (R4年度末)



(4) 留保資金の状況



同規模：給水人口30万人以上 ・ 末端水道事業計（企業年鑑より）

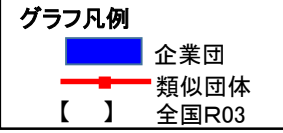
流動比率 = 流動資産 / 流動負債 × 100 < 短期的資金の状況 >

留保資金残高 = (投資 + 流動資産) - (流動負債 + 固定負債引当金 + 積立金)

企業債残高 = 固定負債・建設改良に係る企業債 + 流動負債・建設改良に係る企業債

<参考> ワンエイト佐藤氏 令和5年8月28日研修会資料を基に作成

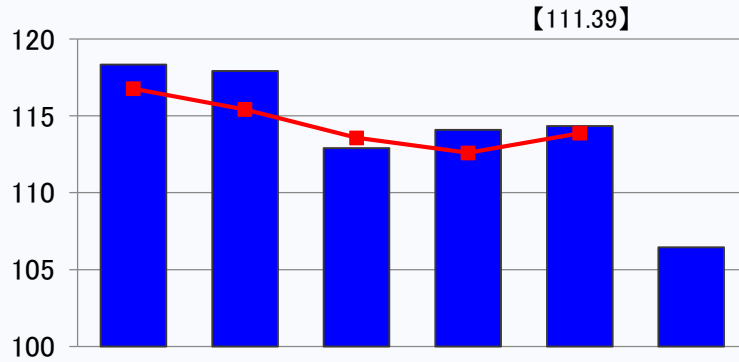
類似団体: 給水人口30万人以上(指定都市除く)
全 国: 末端水道事業



(5) 経営比較分析

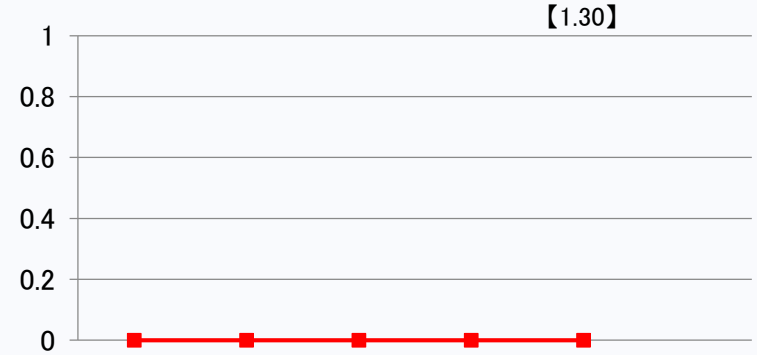
1. 経営の健全性・効率性

① 経常収支比率(%)



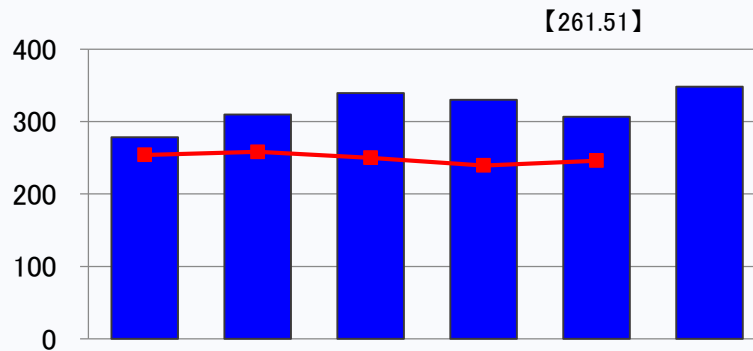
	H29	H30	R01	R02	R03	R04
企業団	118.33	117.92	112.90	114.09	114.33	106.44
類似団体	116.77	115.41	113.57	112.59	113.87	-

② 累積欠損金比率(%)



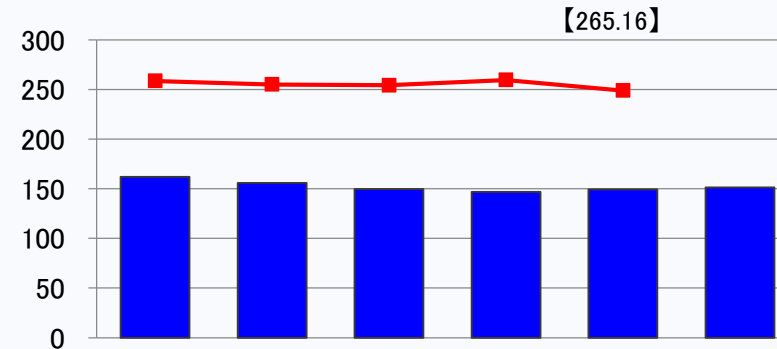
	H29	H30	R01	R02	R03	R04
企業団	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
類似団体	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-

③ 流動比率(%)



	H29	H30	R01	R02	R03	R04
企業団	278.53	309.89	339.43	330.24	306.68	348.32
類似団体	254.05	258.22	250.03	239.45	246.01	-

④ 企業債残高対給水収益比率(%)



	H29	H30	R01	R02	R03	R04
企業団	161.89	155.73	149.64	146.81	149.55	151.27
類似団体	258.63	255.12	254.19	259.56	248.92	-

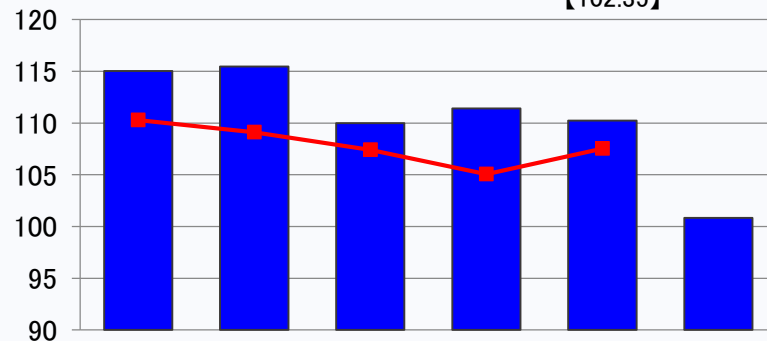
グラフ凡例

■ 企業団
 ■ 類似団体
 【 】 全国R03

1.経営の健全性・効率性

⑤料金回収率(%)

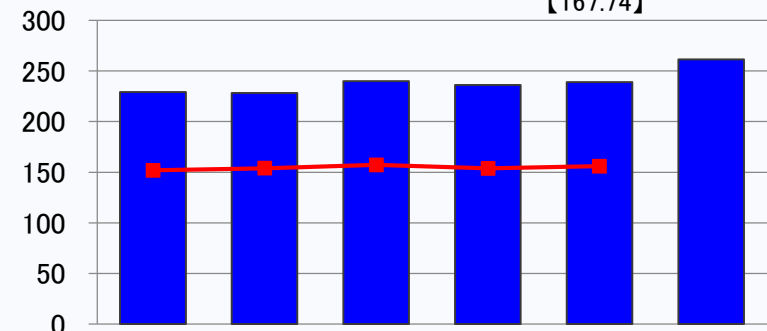
【102.35】



	H29	H30	R01	R02	R03	R04
企業団	115.04	115.46	109.98	111.42	110.24	100.82
類似団体	110.30	109.12	107.42	105.07	107.54	-

⑥給水原価(円)

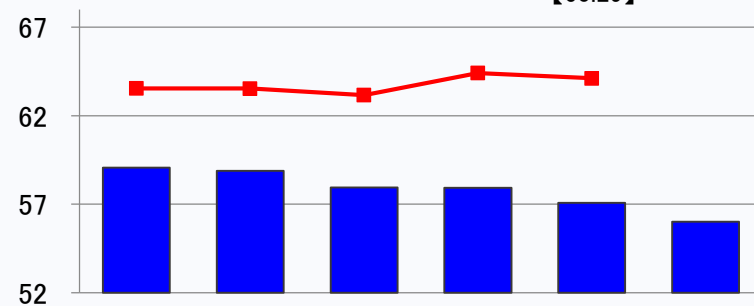
【167.74】



	H29	H30	R01	R02	R03	R04
企業団	229.14	228.28	239.94	236.16	238.80	261.46
類似団体	151.85	153.88	157.19	153.71	155.90	-

⑦施設利用率(%)

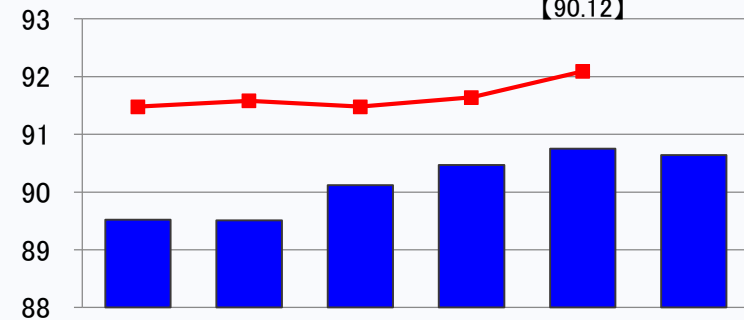
【60.29】



	H29	H30	R01	R02	R03	R04
企業団	59.07	58.89	57.95	57.93	57.08	56.01
類似団体	63.54	63.53	63.16	64.41	64.11	-

⑧有収率(%)

【90.12】



	H29	H30	R01	R02	R03	R04
企業団	89.52	89.51	90.12	90.47	90.75	90.64
類似団体	91.48	91.58	91.48	91.64	92.09	-

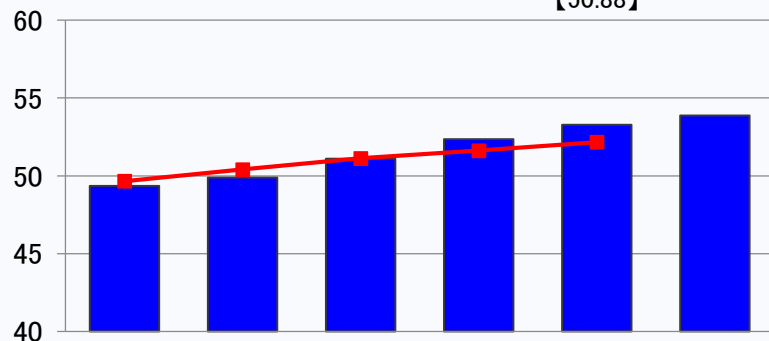
グラフ凡例

■ 企業団
 ■ 類似団体
 【 】 全国R03

2.老朽化の状況

①有形固定資産減価償却率(%)

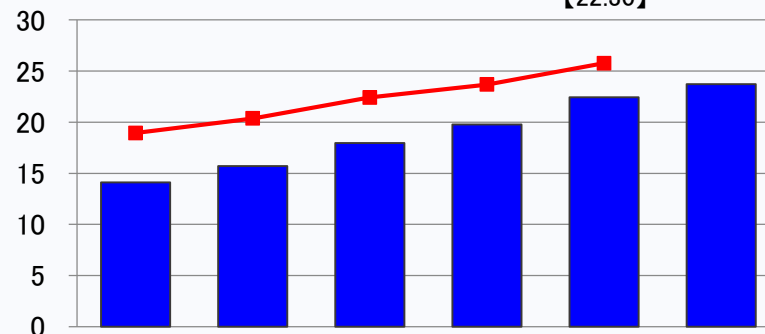
【50.88】



	H29	H30	R01	R02	R03	R04
企業団	49.36	49.88	51.11	52.35	53.27	53.87
類似団体	49.66	50.41	51.13	51.62	52.16	-

②管路経年化率(%)

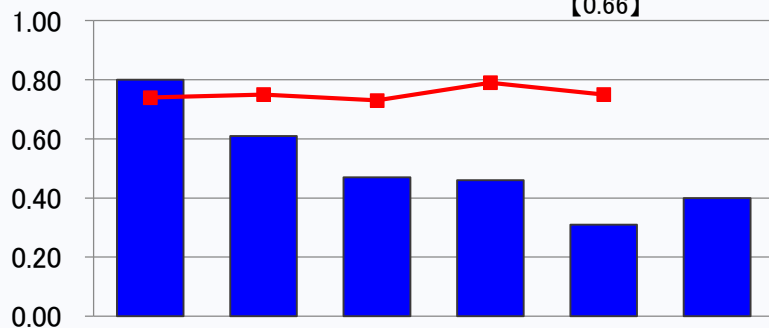
【22.30】



	H29	H30	R01	R02	R03	R04
企業団	14.10	15.71	17.97	19.79	22.43	24.02
類似団体	18.94	20.36	22.41	23.68	25.76	-

③管路更新率(%)

【0.66】



	H29	H30	R01	R02	R03	R04
企業団	0.80	0.61	0.47	0.46	0.31	0.40
類似団体	0.74	0.75	0.73	0.79	0.75	-

分 析 評 価

健全性

健全な状態を維持

経常収支率は100%を超え、累積欠損金も発生していない。料金回収率も100%を超えており、料金収入で費用が賅えている状態であるが、令和4年度は、電気料金や物価上昇などにより、厳しい状況となっている。

効率性

悪くなってきている

給水面積が広い、管の布設距離が長く、人口密度は低い。また、配水量が減少しており、施設の利用率は低下している状態にある。

老朽化の状況

老朽化が進んでいる

減価償却率、管路経年化率は上昇し、老朽化が進んでいる状況にある。この要因の一つは、法定耐用年数での更新ではなく、施設の状態を把握しながら、効率的に施設を使用し、更新を行っていたためである。

今後も人口減少や少子高齢化社会、節水型社会への移行が進行し、料金収入が減少していくと予想されます。また、物価上昇による費用の増加、施設の老朽化に伴う更新費用の増加が見込まれており、厳しい経営環境にあります。

令和5年2月に、第4次水道事業総合計画「はちのへ水ビジョン2019(R元～R10)」の見直しを行い、第11次中期財政計画(R5～R7)を策定しました。これらの計画に基づき、事業を着実に実施するとともに効率的な事業運営を行い、将来にわたる健全経営の維持に努めて参ります。

ご清聴ありがとうございました